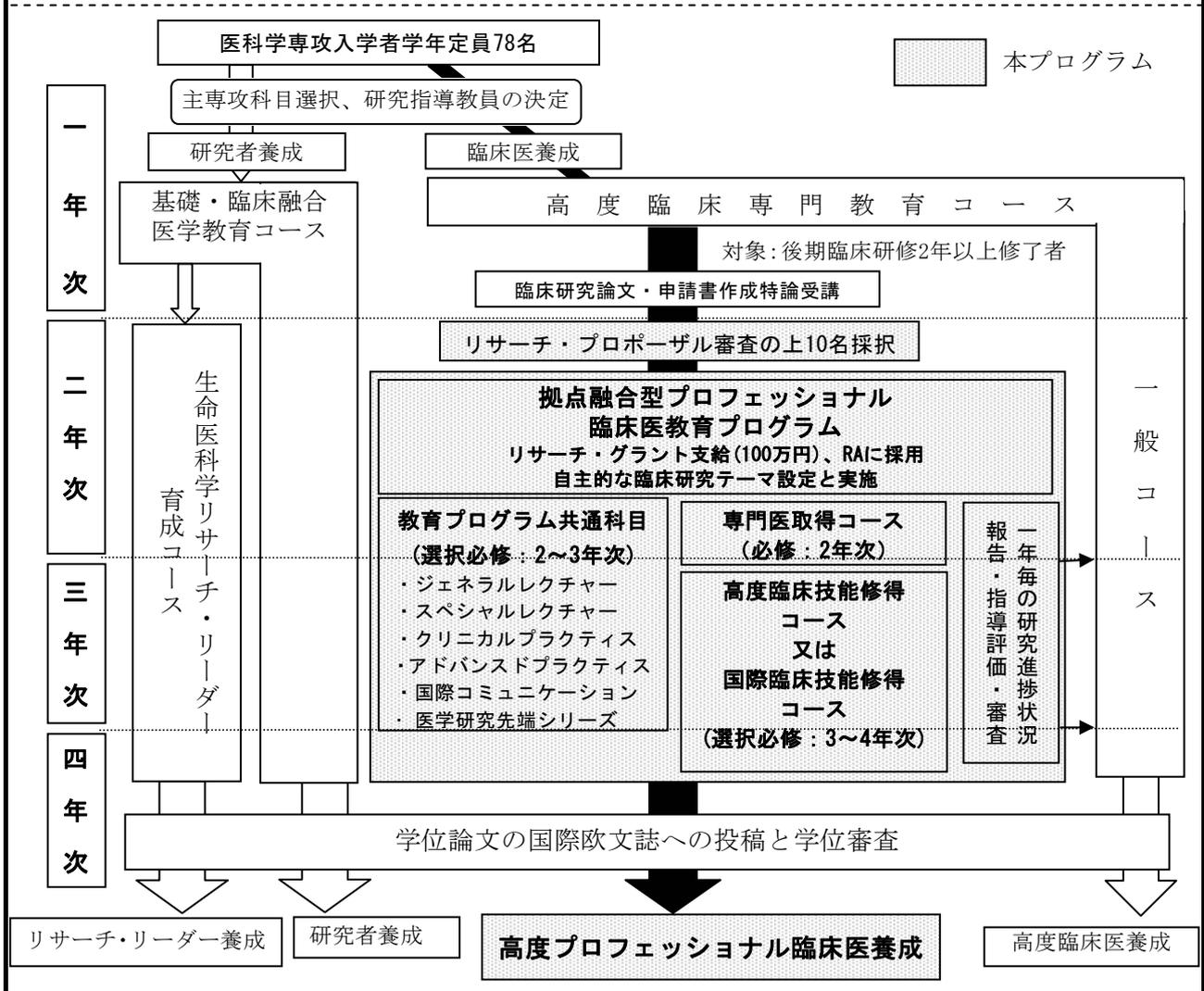


教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	神戸大学	申請分野(系)	医療系
教育プログラムの名称	拠点融合型プロフェッショナル臨床医教育		
主たる研究科・専攻名	医学系研究科医科学専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取組実施担当者	(代表者) 東 健		
<p>[教育プログラムの概要]</p> <p>プログラムの目的: 医学系大学院は、従来、研究者として自立するに必要な研究能力を培い、医学における特定の専門分野について深い研究を行い得る研究者の養成を行い、学術研究を遂行することを主な目的としていた。しかし、臨床医学系の大学院は、これら研究者のみならず、医師として高度の専門性を必要とされる業務に対応した能力と研究マインドを涵養することも求められるようになってきており、医学系大学院が果たすべき機能は多様化している。したがって、医学系大学院においては、専攻や分野の枠を超えて、研究者養成と、優れた研究能力を備えた臨床医の養成のそれぞれの目的に応じて、研究科として二つの教育課程を設けて、大学院学生に選択履修させることが必要である。神戸大学大学院医学系研究科もこれまで主に「研究者養成」を目指して大学院を運営し、平成17年度より「魅力ある大学院教育」イニシアティブプログラム「生命医科学リサーチリーダー育成プログラム」が採択され、「研究者養成」を強化してきた。本プログラムは、これまでの「研究者養成」に対して、「<u>臨床技能の修得を重視したリサーチマインドを持つ臨床医の養成</u>」を目的としている。</p> <p>プログラムの特徴: 本プログラムは、臨床系の医学系大学院コースとして、神戸大学関連病院専門医認定拠点、兵庫県下の高度先進医療拠点、神戸大学の海外新興・再興感染症拠点等、地域特性を有機的に融合させたコースであり、①専門医取得コース(必修)、②高度臨床技能修得コース(選択必修)、③国際臨床技能修得コース(選択必修)の3つのコースで構成されている。</p> <p>①専門医取得コースでは、兵庫県下の病院を中心とする神戸大学医学部関連病院である各種学会専門医認定病院と有機的に融合した臨床教育を行い、<u>関連学会における専門医認定資格を取得する。また、医の倫理、臨床心理、医師と患者関係、安全管理、臨床研究方法、臨床教育法・指導法等、臨床医に求められる資質や能力を涵養する。</u>②高度臨床技能修得コースでは、神戸内視鏡センター、兵庫県立がんセンター、兵庫県立粒子線医療センター、兵庫県立こども病院、同病院周産期医療センター等の兵庫県下の高度先進医療拠点を有機的に融合させ、<u>内視鏡手術、腹腔鏡手術、マイクロサージェリー、血管マイクロカテーテル等の高度臨床技能を修得させる。</u>③国際臨床技能修得コースでは、神戸大学の海外新興・再興感染症拠点(インドネシア、タイ、ベトナム)と医学部附属医学医療国際交流センターを有機的に融合させ、特に国内では十分教育できない<u>新興・再興感染症の診断・治療を中心とした国際的臨床技能</u>を培う。以上の拠点機関に学生を派遣するとともに、学内での指導に加え、拠点において神戸大学客員教員や非常勤講師の指導を受ける複数指導体制を組んでいる。</p> <p>プログラムの内容: 医学部卒業後、臨床初期研修に加え後期研修を2年以上修了し、自分自身の臨床専門を既に決定している臨床系1年次後期に、自らテーマを設定して研究を企画する能力を見るために、希望する学生から科研費の書式に準じてリサーチ・プロポーザルを提出させ、審査委員会にて口頭発表・試問も交えて厳正に審査し、10名の優秀者を本教育プログラムに選考する。2年次から、選考された10名にリサーチ・グラントを支給し、RAに採用する。2年次に専門医取得コース(必修)を履修させ、関連学会専門医を取得し、国際臨床技能修得コース又は高度臨床技能修得コース(選択必修)を履修させる。本プログラムでは、一年毎の研究進捗状況報告・指導評価・審査があり、継続の可否が認定される。また、共通科目(ジェネラルレクチャー、スペシャルレクチャー、クリニカルプラクティス、アドバンスドプラクティス、国際コミュニケーション、医学研究先端シリーズ)を設け、2～3年次に関連領域に関する組織的な教育により、幅広い視野を身に付けさせる。</p> <p>プログラムの期待される成果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の拠点機関との有機的な融合により、社会のニーズに対応した人材が養成される。 ・ 国際的な場でリーダーシップを発揮できる世界水準の人材が養成される。 ・ 先進的臨床技能を修得したリサーチマインドを持つ、高度プロフェッショナル臨床医が養成される。 			

履修プロセスの概念図（履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。）

拠点融合型プロフェッショナル臨床医教育



<採択理由>

大学院教育の実質化の面では、「リサーチマインドを持つ臨床医の養成」という、社会のニーズに対応した人材養成目的が明確に掲げられており、それに沿ったジェネラルレクチャー、クリニカルプラクティス、国際コミュニケーション、スペシャルレクチャー、アドバンスドプラクティスなど、体系的な教育課程が編成され、その展開のための充実した指導体制が整備されている点は高く評価できる。

教育プログラムについては、専門医取得を必須とし、高度臨床技能修得と国際臨床技能修得の3コースを設け、それらを大学のほか専門医認定施設、高度先進医療施設、海外新興・再興感染症拠点など多数の拠点を融合する形で提案し実施しようとしており、ユニークで魅力的な取り組みと言える。これまでの大学院教育の実績からみても、その実現性、実効性が期待できる。

また、本教育プログラムの大学全体の中での位置付けも明確にされており、全学的な支援体制が計画されていることから、今後の展開が大いに期待できる。